

太陽の塔 内部見学(ご案内)

担当 1 班

太陽の塔は1970年に開催された日本万国博覧会で岡本太郎が制作した芸術作品であり万博終了後も引き続き万博記念公園に残されていました。耐震工事・内部再生事業を終えて、2018年3月19日から48年ぶりに内部が一般公開され、塔の頂部の「黄金の顔」、正面の「太陽の顔」、背面の「黒い太陽」、「地底の太陽」が復活し、本来の4つの太陽が楽しめるようになりました。48年前の展示がこれだけの人に愛され、大事にされて受け継がれているのは芸術のもつ力だと思います。内部に入ると岡本太郎ワールドの真ただ中にいることを全身で感じる事が出来ます。4か月先まで予約で一杯であり、この機会に是非見学されることをお勧めします。



【実施日】2018年12月21日（金） 雨天決行

【集 合】万博記念公園中央口前 9：20

【行 程】9：30 万博公園入場開始

9：40 お祭り広場（太陽の塔裏側）で集合写真、スケジュール説明

10：00 太陽の塔入場開始

太陽の塔内部（生命の樹）は6フロアになっており、階段を使って地下階から上に向かって順に進んで行きます。耐震基準の問題から一度に塔内部へ入場できる人数は16名となっています。16名がひとつの班になる形で5分間隔で進み、各フロアにいる案内係の案内に従いながら順にフロアを回っていきます。内部の見学時間は30分です。

足腰が不自由な方は事前申請（済）でエレベーターが利用できます。希望される方は当日、前列に並んで頂きますが現場を見て階段を歩く方を選択されるのは自由です。

上りは緩く、下りが少しきつい階段ですが下見では全員が歩行出来ると思っています。

10：40～11：15 解散

太陽の塔内部見学が終了した時点で解散とします。

各自で次の忘年会会場の新大阪ワシントンホテルに向かって下さい。

12：30 受付開始 13：00 宴会開始

万博記念公園中央口⇒新大阪ワシントンホテル までの所要時間は約50分です。
大阪モノレール： 万博記念公園駅 ⇒ 千里中央駅 乗継
北大阪急行・大阪地下鉄： 千里中央駅 ⇒ 新大阪駅 ⇒ 徒歩5分
ワシントンホテルへは一番前の車両に乗車 南改札口⑦出口を左へ

11：30 万博記念公園中央口の内側に集合

希望者は万博記念公園中央口の内側に集合して下さい。

新大阪ワシントンホテルまで引率します。

【参加費】 400円 各班で12月7日（金）（共通講座・全体会議）に徴収し1班山本までお願いします。

万博公園200円+太陽の塔560円＝合計760円の内400円を個人負担でお願いします。

【出欠確認】 11月23日（金）までに参加者一覧表（添付ファイル）を柳田までメールで送信願います。

障がい者手帖を提示できる方は無料になるのでご協力をお願いします。

11月29日までに正式申込と入場料を納付します。この時点からキャンセル料が発生します。